

大崎火電闘争から

~ 独占資本・反動行政糾弾する ~



ある晴れたいつもの午後。石炭火力  
の黒い影は突然やってきます。

# 火電同意を提案できず 大崎町会

## 町長と直談判 撤回強く迫る 反対住民



大崎町大崎町の町会が十六日、中電の大崎火電建設同意を求めた議案が提案され、審議する予定だったが、反対派の抗議行動で議案が否決。午後四時前、町会会場を再開した。火電とは関係ない二議案の提案撤回をただただで、同五時前散会した。引き続いて議案の白紙撤回を求めた反対派住民と町会職員の間で話し合いが、夜遅くまで続いた。

# 木組組長ら4人逮捕

## 恐喝未遂疑い

2015.1.9 広島県警

### 中電大崎発電所工事 恐喝未遂の疑いで、住所不定、指定暴力団共済会木組組長ら4人を再逮捕した。また同日中に、同団員ら2人を再逮捕した。

# 暴力団排除なおお

大規模な発電所工事をめぐる指定暴力団共済会木組組長ら4人を再逮捕した。同日中に、同団員ら2人を再逮捕した。

同じ地域に住む人のなかには石炭火力発電所建設に反対する人もいれば賛成する人もいました。反対派は行政や賛成派住民からの強引な説得、嫌がらせなど圧力を受け、精神的にも追い込まれていきます。

非常に悪質な出来事がありました。  
長島住民待望の大崎上島とつなぐ橋  
を架けるためとして集めた署名を何  
者かが「石炭火力発電所誘致」の為  
の署名と書き換えて行政に提出した  
のです。これは石炭火力発電所建設  
への一歩となっていました。



石炭火力発電所建設の現実味が高まる中、反対派住民に対する圧力はますます高まって行きました。それでも反対派住民は大崎のきれいな海を守るため、先祖代々受け継いだ土地を守るため反対し続けました。





ついに町議会に「大崎町発電所建設  
計画に同意を求め、事について」の  
案件が出される日、反対住民らはこ  
れから議会に向かう町長に直接抗議  
に向かいました。

しかしこの後日、住民の反対を押し切り「大崎町発電所建設計画に同意を求める事について」の案件は町長の独断により通されました。







10:30-11:10 学習  
11:10-11:20 休  
11:20-11:50 学習  
12:00-12:15 居  
13:15-14:00 居  
14:00-14:15 居

OK  
TRAI  
100K  
48 HR



